

貼る

は
小さいものから大きいものまで、
どのようなワークに対しても
最適な『貼る』技術を提供します。

特徴1 大気中で貼る

- ステージ反転方式とローラー方式のどちらでも、大気中で気泡混入のない貼り合せを実現
- ガラス、フィルム、ディスプレイなど、幅広い製品に貼ることが可能

特徴2 真空中で貼る

- 0.4Paの真空環境下で、位置制御・トルク制御による貼り合せが可能
- 真空中でもCCDカメラを使った上下ワークの位置合わせ精度 $\pm 5\mu\text{m}$ 以下を実現

特徴3 大型ワークを貼る

- 接着剤の塗布、高精度アライメント、大型真空チャンバーによる貼り合せ機能を盛り込んだ、65インチのディスプレイへ特殊レンズを貼る量産自動化ラインの製作実績



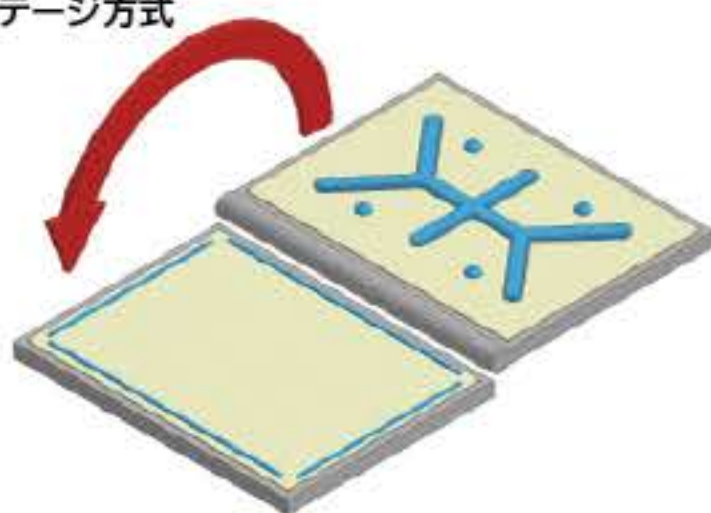
当社技術の採用例

- 採用工程: ディスプレイ製品の組立工程
- 装置名称: 貼り合せ装置 (KAR10)
- 設備概要: UV硬化型の透明接着剤を塗布し、大気中または真空中で『貼る』ことにより、ディスプレイにカバーガラスやタッチパネルを気泡なく貼り合せます。

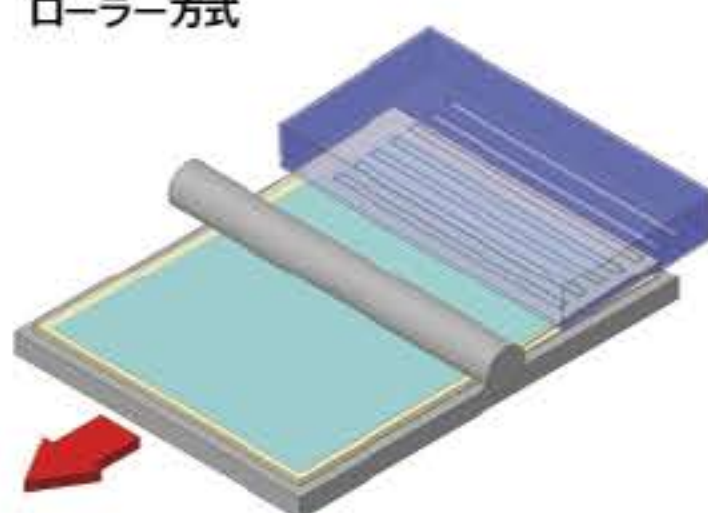
設備仕様

対応ワークサイズ	7~10インチ
対応ワーク種類	液晶ディスプレイ+タッチパネル・カバーガラス
貼り合せ環境	大気中・真空中の選択可能
チャンバー真空度	10Pa
接着材塗布方式	スリットコート
接着材硬化方式	UV照射機能を組み込み(仮固定)
ワーク厚み補正	厚みを測定し、データに基づいて自動補正
ローダー/アンローダー	追加で設置可能 ※オプション

ステージ方式



ローラー方式



真空チャンバー方式

